

高梁市高校生議会



高梁市の英語教育



新田くるみ 議員
(高梁高校2年)

小・中学校から英語に親しみ、英語の楽しさを知るための取り組みとして、具体的にどのような学習活動を取り入れ、また、取り入れる計画を持っていますか。

また、外国人との交流学习や、姉妹都市などの教育交流(交換留学など)といったプログラムを、どのように整備される予定でしょうか。

【答弁】 小田幸伸 教育長

令和2年度から小学校5・6年生で英語が教科化となりました。市では、2年前から英語に触れる機会を確保するため、就学前や小・中学校に外国人講師を配置しています。小学校では、歌やクイズを通して英語に親しみ楽しむことを中心とし、中学校では自分の思いや考えを英語で伝える教育をしています。



塚原菜月 議員
(高梁高校2年)

市内の外国人数は23カ国907人、人口割合では3.1%で、県内で最も高い割合です。しかし、実際に直接触れ合う機会は少ないと思います。今後は、吉備国際大学と連携した英語合宿やサマースクールなどを行う予定です。

市役所に国際交流員としてフランス人を1人配置し、外国語教育や親善交流を行っています。また、アメリカのトロイ市と中学生同士の相互派遣交流を行っており、30年間で180人を派遣しています。フランスのリヨン市とは高校生の交流が始まっています。皆さんも、勇気をもって外国人と交流することが大切だと思います。

新型コロナウイルス感染症対策

高梁市ではマスク購入支援や地域活性×梁商品券など、地域住民に安心を与える政策を実施中、経済・市民活動が再始動しています。しかし、どれだけ気を付けても感染してしまうのが新型コロナウイルス感染症であり、インフルエンザとの同時流行も懸念されます。

市としてマスクや消毒液の確保は十分でしょうか。十分な場合はどのように活用をしていますか。また、感染症がこれからのようになるか不透明な中、市はどのように対策を実施する予定か教えてください。

【答弁】 近藤隆則 市長

マスクは、これまでに約106万枚を購入し、購入支援事業で約25万枚を販売。医療機関や福祉機関に約14万枚を、妊婦や子ども、高校生、大学生に約17万枚を配布しました。残り約50万枚を備蓄しており、災害時の避難所配布などに活用することとしています。

企業への支援としては、休業している企業の従業員への賃金保障を国が行っており、市は独自に3%を上乗せ支給しています。仕事が減った

高校生がまちづくりを考え、地方自治への関心と理解を深めることを目的とする「高梁市高校生議会」を、11月18日に市議会議場で開催しました。市内5つの高校から10人が参加。「議員」として市政に関する質問を行い、市長、教育長が答弁を行いました。

今月号では、質問と答弁の内容の一部を紹介いたします。なお、高校生議会の様子は「高梁市行政放送」で順次放送しています。

☎ 学校教育課 ☎ (21)1508



市ウェブサイト



人などへの支援は、国や県の事業で手が届かないところに対して行っていけるように考えていきます。

経済対策に関して、「こども食事券」と「×梁商品券」は好評をいただきました。次の取り組みを考えなければなりません。

イベントに関しても、積極的に開催していただくようお願いしていますが、手指消毒などの感染予防はしっかりと行ってください。

また、感染症対策と経済を両立しなければなりません。皆さんも予防はもちろんですが、自分が感染している可能性も考慮し、うつさない行動をしましょう。行動を工夫する中で、新しい発想が生まれると思います。



濱野栄美 議員 近藤樹莉 議員
(高梁日新高校2年)